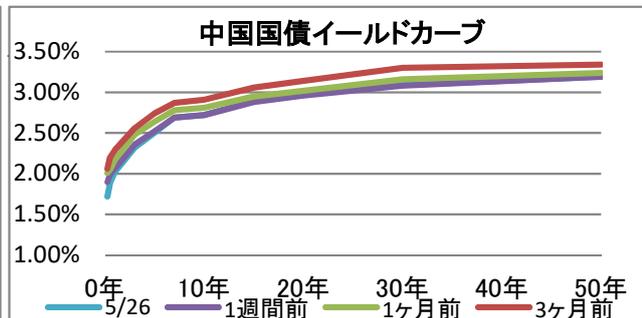
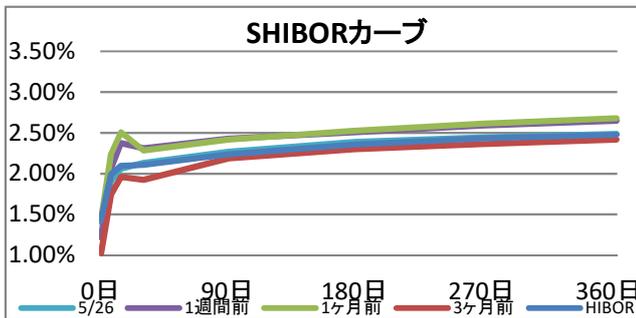


基準レート		2023/5/26	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.0760	+0.0404
	JPY/CNY	5.0566	-0.0224
SHIBOR	3M	2.2380%	-0.0310%
国債利回り	10年	2.72%	+0.00%
上海総合指数		3,212.50	-71.04



(1) 概況

国際金融市場では、連休を週末に控えて米債務上限問題に対する不透明感が残る中、予想を上回る米経済指標等を受けて利上げ停止見通しが修正される格好で債券利回りが上昇し、株式市場では上値の重い展開となった。外為市場では、ドルが底堅く、特に日銀との金融政策スタンスの違いから金利差拡大が意識され、対円では140円台までドル高・円安が進行。

中国金融市場では、コロナ再拡大懸念や地政学リスクが意識されて株価は下落が続き、債券市場でも中国人民銀行による景気支援姿勢表明もあって、短期の利回りが低下。為替市場でも、米中金利差の拡大や米中摩擦が意識されて元安が進行したが、国有商業銀行のドル売りが市場に伝わると元安一服。

習主席は、訪中したロシア首相との会談で、両国の核心的利益問題に対する支持や経済貿易面の更なる拡大・協力を表明し、国際フォーラム等で中国の"一帯一路"とユーラシア経済連合の経済建設における協力強化や世界各国との科学技術イノベーション分野での協力促進方針を示し、何立峰副総理は、世界貿易投資促進サミットで中国の対外開放政策の堅持等の方針を強調。外交部はG7声明の台湾等内政問題に関する干渉に反対を表明し、商務部は、米国と台湾の経済連携強化の合意や日本政府の半導体装置輸出規制強化に対して反対の意思を表明し、インターネット規制当局は、米半導体大手マイクロン・テクノロジーの製品について、国内重要インフラ事業者による調達を禁止。人民銀行は、弁公室業務会議において、金融政策の解釈や注目点等の公表強化を通じて市場の期待を有効的に導く方針を示し、証監会は、シンガポール金融管理局とETFや先物デリバティブに関する協力強化に合意し、先物市場の対外開放政策の一環としてモルガンスタンレー先物会社の設立を認可し、香港証券取引所では、同一発行者の香港ドル建て証券と人民元建て証券の交換を可能にする「香港ドル・人民元デュアルカウンターモデル」の開始方針を示した。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日100億元に対して、リバースオペ億元180億元、中央国庫定期預金500億元を実施し、ネットで580億元を供給。

(3) 主な経済指標

・工業企業利益（1-4月）は、前年比-20.6%（1-3月-21.4%）と、やや改善も大幅減益が続く。電力・熱力等（+34.1%、1-3月+33.2%）は高い伸びを維持する一方、EV販売や輸出が増加している自動車（+2.5%、同-24.2%）は前年比プラスに転じたが、PC・通信等電子設備関係（-53.2%、同-57.5%）や素材関係は大幅減益が続いていることから、これらを含む製造業（-27.0%、同-29.4%）では不振が続いている。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.4380%	1.4100%	1.4500%	
1W	1.9920%	2.3500%	1.6000%	
2W	2.0960%	2.0500%	2.3000%	1.9100%
1M	2.1080%	2.7500%	2.1500%	1.9200%
3M	2.2380%	3.0000%	2.4000%	2.1400%
6M	2.3580%		2.4200%	2.2600%
9M	2.4340%			2.3700%
12M	2.4780%	3.2000%		2.4400%

金融政策は変更されなかったものの、預金金利引き下げの効果と資金需給の緩和状況が続いており、金利水準は一段と低下している。ターム物の金利水準は1ヶ月が2.1%前後に低下して出合っているものの、その他の期間の出合いは限定的。

NCDの高水準での発行は続いているものの、金利水準は低水準で安定しており、ターム物の金利水準は、1ヶ月が1.9%前後、3ヶ月が2.1%台前半、6ヶ月が2.25%前後、1年が2.45%前後で取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	5.18%	5.19%
1W	5.25%	5.30%
1M	5.45%	5.50%
3M	5.45%	5.55%
6M	5.50%	5.60%
12M	5.50%	5.60%

堅調な経済指標を受けて、6月のFOMCにおける金利引き上げ停止観測が後退しており、中国国内市場でのビッドしっかりの展開に変化はなく、ターム物の出合いは引き続き限定的となっている。ターム物の金利水準は、1ヶ月は5.50%前後、3ヶ月は5.5%台で取り引きされている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.90%		2.27%	2.32%	2.49%
6M	1.99%		2.33%	2.38%	2.55%
1Y	2.06%	2.13%	2.48%	2.56%	2.75%
3Y	2.36%	2.55%	2.78%	2.92%	3.48%
5Y	2.52%	2.69%	2.86%	3.10%	3.78%
10Y	2.72%	2.91%	3.10%	3.38%	4.17%

米国債券市場では、債務上限問題や堅調な経済指標による6月の利上げ停止期待剥落から債券利回りは一段と上昇し、10年債利回りは約2ヶ月半ぶりの水準となっている。中国では、預金金利引き下げの効果も一巡し、積極的な買い手も見られず、債券利回りは短期を除き総じて小幅な上昇に転じている。

上記により、米国の10年国債利回りは3.80%（前週比+13bp）に上昇しており、10年中国国債（2.72%、±0bp）に対する上回りは+108bp（同+13bp）へと一段と拡大している。

イールドカーブは、前週同様に短期の信用債利回りは低下を続けたものの、利率債は総じて小幅ながら利回りが上昇しており、信用債ではスティーピングが進み、利率債は変化はなかった。クレジットスプレッドは、上記により前週同様に短期で信用債利回り低下による縮小が続いたが、その他は概ね変化なし。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-234.0 / -229.0
3M	-680.0 / -676.0
6M	-1320.0 / -1310.0
9M	-1900.0 / -1888.0
12M	-2384.0 / -2373.0

対ドル基準レートは7.0760と前週末比+404pipsのドル高元安、対円基準レートは5.0566と同-224pipsの円安元高と、市場での対ドルでの元安を受けた設定が続いた。中国国内市場では、ドル預金管理強化方針が表明された後も米中金利差拡大等を材料に7.08台まで上昇したが、週後半に国有銀行によるドル売りが伝わり7.05台に戻して週末を迎えている。

先物は、米ドル金利上昇による米中金利差拡大に対する期待からマイナス幅が一段と拡大しており、1年ものは-2300台後半で取引されている。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.05%		1.70%
6M	2.07%	2.27%	1.70%
9M	2.09%	2.31%	1.75%
1Y	2.12%	2.34%	1.76%
3Y	2.36%	2.63%	2.03%
5Y	2.57%	2.92%	
7Y	2.70%	3.07%	
10Y	2.82%	3.19%	

スワップ金利も、債券利回り同様に動意なく、短期の基準金利の低下により先週末比、若干低下しており、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも小幅縮小。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。